

納内まちづくり通信

おさむない

第1号

発行：納内地域集落対策協議会

—— いつまでも住み続けられる活力あるまちづくりに取り組む、納内地域集落対策協議会の活動をお知らせします ——

いつまでも住み続けられる納内をめざして

納内地域集落対策協議会 会長 安藤 一彦



納内では、これまでも様々なコミュニティづくりの取組を進めてきましたが、近年、高齢化や人口の減少により新たな取組も必要になってきました。平成 25 年には「納内地域集落対策協議会」を組織し、北海道の集落対策モデル事業として「サロンなごみ」の運営や冬の集住体験などを行ってきました。さらに今年度は、農林水産省の「農村集落活性化支援事業」に採択され、今後5カ年、地域の維持・活性化を目指し様々な取組を進めていくことになりました。まちの将来をみんなで考え、力を合わせて新たな一歩を踏み出していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

私たちが目指す 納内のまち の 将来像

- 住み慣れた地域で、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを基本に、賑わいや活力を生み出していくことを目指します
- お互いに支え合い、助けあって、安心して暮らし続けるために、市街地への集住を推進するなど安心安全なまちづくりを目指します
- 誰でも参加できるふれあい事業の継続と、新しい事業の取組を目指します

協議会の体制 ～地域のみんなで協力していきます

納内地域集落対策協議会は、次のような体制で活動を進めます。



納内地域集落対策協議会

町内会連合会、民生児童委員、ボランティア団体などで構成しています

会長：安藤 一彦
副会長：川中 裕

事務局 事務局長：河野 司美
事務局次長：水本 美津子
監 事：平館 由清

コミュニティ 活性化部会

空き店舗などの利活用、ふれあいサロンの運営・世代間交流事業、食料販売店の充実、クラーク高校連携、複合施設の整備、地域商店街の振興策の検討など

部会長：中本 博大

地域活性化部会

フリーマーケット運営、農産品加工開発、地域イベント活性化、農業後継者対策・営農規模拡大の検討、花嫁対策、6次産業推進、農業経営の安定化など

部会長：谷岡 優

まちなか居住・ 安全安心部会

高齢者の冬期集住、移住体験、高齢者世帯等の生活支援（見守り）、診療所のあり方検討、市街地への集住化、高齢者向け集合住宅など

部会長：印牧 久俊

〔活動テーマ〕

地域で支え合う仕組みづくりに取り組みます！



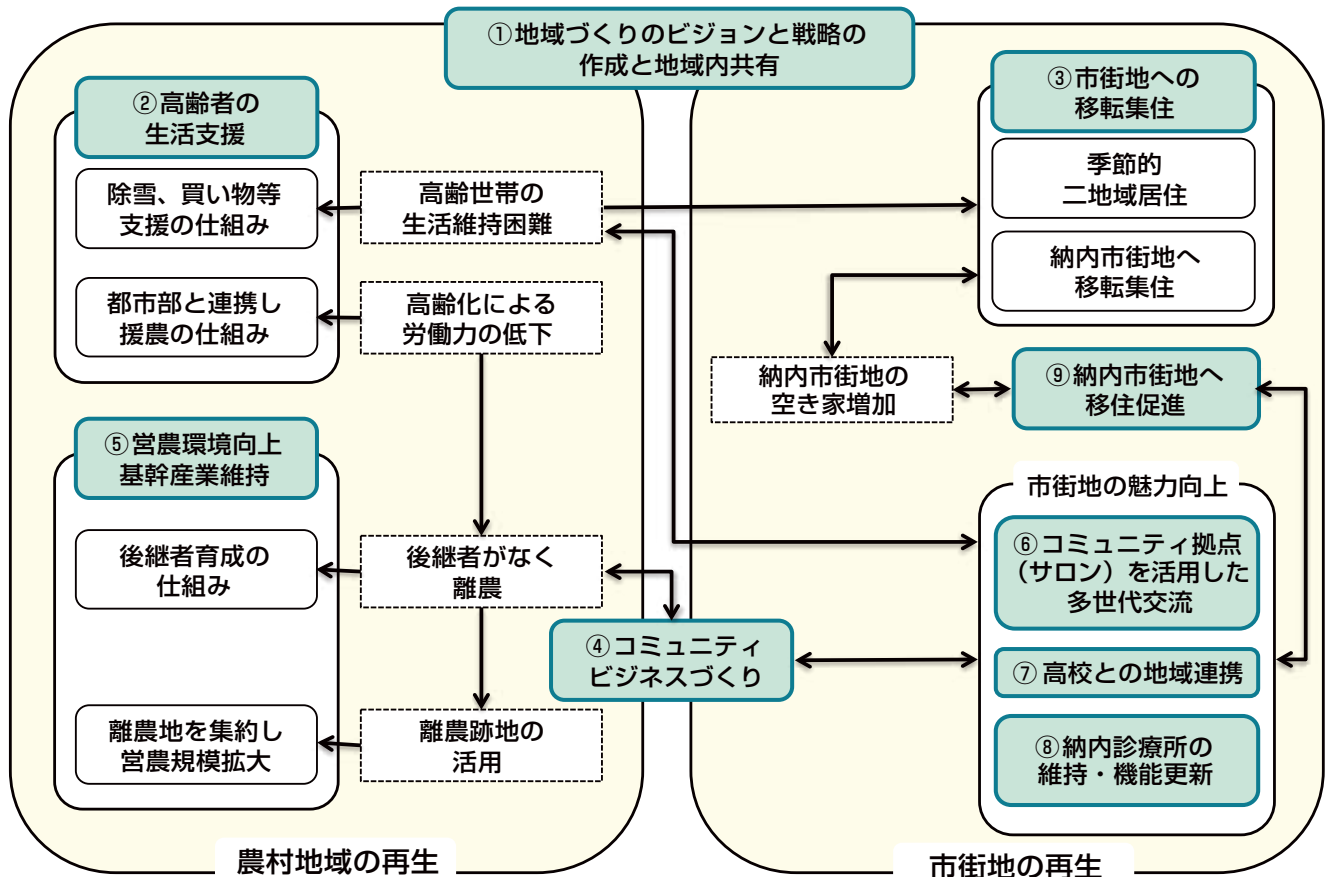
「地域づくりのビジョンと戦略」づくり：今後5年間の具体的な活動を計画します。

「農村地域の再生」：高齢者の生活支援や基幹産業の農業の振興に取り組みます。

「市街地の再生」：市街地への移転・移住や地域の魅力を向上するコミュニティ拠点

の運営、クラーク高校と連携した交流イベント、診療所の機能向上などに取り組みます。

また、永く取組を継続させていくために、事業化＝コミュニティビジネスの検討も行います。



★ 8～10月の予定 ★

<8月>

- ビジョンづくりのためのヒアリング
(高齢の方のお困りごと、市街地への移住のご意向、納内に移住された方のお話など)
- 診療所の充実を考えるワークショップ
- 農家の花嫁対策について、嫁いでこられたお嫁さんとの意見交換

<10月>

- 第1回納内のまちの将来を考えるワークショップ (お話しあい)



ご協力をお願い

納内の地域づくりビジョンをまとめるにあたり、地域の方々にお話を聞くヒアリングや地域の資源を確認する調査を行います。深川市の集落支援員と協力してまちづくりコンサルタント（石塚計画デザイン事務所）が調査を進めますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

納内まちづくり通信 第1号 平成27年8月

発行：納内地域集落対策協議会（深川市役所納内支所内）

深川市納内町3丁目1-1

電話 0164-24-2111

メール osamunai@city-fukagawa.lg.jp